

一般社団法人 日本生物物理学会
2022 (令和 4) 年度 事業報告
(2022 年 5 月 1 日～2023 年 4 月 30 日)

目次

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
 - 2-1. 学術誌・学術図書発行 (定款第四条第 1 号)
 - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催 (定款第四条第 2 号)
 - 2-3. 人材育成 (定款第四条第 3 号)
 - 2-4. 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号)
 - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号)
 - 2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号)
 - 2-7. 普及啓発活動
3. 付属明細
 - (付属明細 1) 処務詳細資料
 - ・総会・役員会等に関する事項
 - ・契約・入札・他に関する事項
 - (付属明細 2) 会員の異動状況
 - (付属明細 3) 事務局の現況 (2023 年 4 月 30 日現在)

1. 事業概要
主な活動は
 - 1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
 - 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 3) 研究及び調査の推進・人材育成
 - 4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰
 - 5) 関連学術団体との連携及び協力
 - 6) 国際的な研究協力の推進
 - 7) 普及啓発活動
 - 8) その他である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理』第 62 巻 3 号～6 号、Supplement1-1（年会プログラム集）・1-2（年会予稿集：電子版のみ）、第 63 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology Vol.19、Vol.20 を刊行した。

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) 第 60 回日本生物物理学会年会の開催

2022 年 9 月 28 日～2022 年 9 月 30 日、函館アリーナ・市民会館において、第 60 回日本生物物理学会年会を開催した。参加者総数：1692 名、演題登録状況：一般演題 968 件、シンポジウム：257 件であった。

2-2) 会員総会シンポジウムの開催

学会年会において、会員総会シンポジウム「内藤記念科学振興賞受賞報告」を開催した。

3) 研究及び調査の推進・人材育成

3-1) 男女共同参画・若手支援シンポジウムおよびキャリア支援説明会の開催

学会年会において、男女共同参画・若手支援シンポジウム「ありったけの夢をかきあつめ、いざふたたび世界へ！」および、キャリア支援説明会を開催した。

3-2) サブグループ支援活動

小中規模のグループ活動やオンラインを含むミーティング開催等を支援することにより学会活動をさらに盛り上げることを目的とし、8 件のサブグループの支援を行った。

4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰

学会年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞、IUPAB award、IUPAB student award を授与した。

5) 関連学術団体との連携及び協力

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、年会において海外とのジョイント・シンポジウム 1 件を開催した。

21st IUPAB International Biophysics Congress（2024 年）の主催に向け、国際関係委員会（IAC）において準備・検討を行った。

7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

編集委員会の開催、サイトの整備、海外 Editorial Board の指名、Biophysics and

Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。2022年度は、講師派遣2件が行われた。

8) その他

8-1) 学会理事会でのウェブ会議の活用

2015年12月より学会理事会へのウェブ会議システムの活用を始めた。定時社員総会後の理事会および学会年会時の理事会はface-to-faceで行っていたが、昨年度に引き続き2022年度も、新型コロナウイルスの感染予防の観点からすべての理事会をオンラインで行った。また、男女共同参画・若手支援委員会と出版委員会もウェブ会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1. 和文誌「生物物理」	<p>・第62巻3号～6号・第63巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊） 62巻3号 15記事62ページ 62巻4号 14記事65ページ 62巻5号 16記事62ページ 62巻6号 16記事68ページ 63巻1号 15記事82ページ 63巻2号 14記事64ページ</p> <p>【ダウンロード数（2022年5月～2023年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会PDF版</td> <td>5,437</td> <td>1,045</td> <td>6,482</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE版</td> <td>15,155</td> <td>885,929</td> <td>901,084</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,592</td> <td>886,974</td> <td>907,566</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第62巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体3,400部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：34、購読（書店経由）：43、購読会員：7（内名誉会員3） 上記に加え、賛助会員4、寄贈会員10にも送付した。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会PDF版	5,437	1,045	6,482	J-STAGE版	15,155	885,929	901,084	合計	20,592	886,974	907,566
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会PDF版	5,437	1,045	6,482														
J-STAGE版	15,155	885,929	901,084														
合計	20,592	886,974	907,566														
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.19（2022.5-12） Regular Article 6、Review Article 9、Note 2、Editorial 2、Commentary and Perspectives 13、Special Issue 1</p> <p>Vol.20（2023.1-4） Regular Article 12、Review Article 12、Editorial 1、Commentary and Perspectives 17、Database and Computer Program 2、Special Issue 2</p> <p>【ダウンロード数（2022年5月～2023年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28,592</td> <td>37,043</td> <td>65,535</td> </tr> </tbody> </table>	今期刊行号	バックナンバー	総計	28,592	37,043	65,535										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
28,592	37,043	65,535															
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。 2022年第60回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：金城 政孝 氏（北大） 日時：2022年9月28日～30日 場所：函館アリーナ・市民会館</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2023年第61回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：神取 秀樹 氏（名工大） 日時：2023年11月14日～16日 場所：名古屋国際会議場</p> <p>2) 2024年第62回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：野地 博行 氏（東大） 日時：2024年6月24日～28日 場所：京都国際会議場</p>																

	3) 2025 年第 63 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：高田 彰二（京大） 日時：未定 場所：未定
2-2-2. 総会シンポジウム	・以下の総会シンポジウムを開催した。 第 6 回会員総会シンポジウム「内藤記念科学振興賞受賞報告」 日時：2022 年 9 月 29 日 12:35～13:35 会員総会中 場所：函館市民会館（大ホール）F 会場 形式：講演
2-2-3. 各種講演会	38 件の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 研究及び調査の推進・人材育成（定款第四条第 3 号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	・男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「ありったけの夢をかきあつめ、いざふたたび世界へ！」 日時：2022 年 9 月 30 日 12:00～13:30（第 60 回年会会期中） 場所：函館アリーナ A 会場 オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 形式：講演 ・第 60 回年会において、キャリア支援説明会として、(株)アカリクから講師を迎え、セミナー等を実施した。 ・若手の会 2022 夏の学校への資金援助（30 万円）を行った。
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 20 期第 3 回、第 21 期第 1 回、第 2 回へ出席した（2022 年 8 月 22 日、2022 年 12 月 14 日、2023 年 3 月 27 日）。 ・第 20 期幹事学会を担当した。 ・第 20 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第 4 号関連）	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	・第 18 回若手奨励賞の選考を行い、第 60 回年会で授賞した。（受賞者 5 名） ・第 7 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。（受賞者 5 名） ・第 7 回学生発表賞の選考を行い授賞した。（受賞者 33 名） ・IUPAB award の選考を行い、授賞した。（受賞者 1 名） ・IUPAB student award の選考を行い、授賞した。（受賞者 3 名）
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	・第 11 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 8 報の推薦論文について審査した結果、以下の 1 論文を第 11 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第 60 回年会で授賞した。 Akira Kitamura, Masataka Kinjo "Determination of diffusion coefficients in live cells using fluorescence recovery after photobleaching with wide-field fluorescence microscopy" Biophysics and Physicobiology, Vol. 15, pp. 1-7 (2018) ・第 12 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 7 報の推薦論文について、審査を開始した。

2-4-3. Biophysics and Physico-biology Editors' Choice Award	<p>・以下の4報の論文を第9回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第60回年会で授賞した。</p> <p>"Biphasic spatiotemporal regulation of GRB2 dynamics by p52SHC for transient RAS activation" Ryo Yoshizawa, Nobuhisa Umeki, Akihiro Yamamoto, Masayuki Murata and Yasushi Sako Biophysics and Physicobiology, Vol. 18, pp. 1-12 (2021)</p> <p>"A measure for the identification of preferred particle orientations in cryo-electron microscopy data: A simulation study" Ryota Kojima and Takashi Yoshidome Biophysics and Physicobiology, Vol. 18, pp. 96-107 (2021)</p> <p>"Structural basis for Ca²⁺-dependent catalysis of a cutinase-like enzyme and its engineering: application to enzymatic PET depolymerization" Masayuki Oda Biophysics and Physicobiology, Vol. 18, pp. 168-176 (2021)</p> <p>"The insights into calcium ion selectivity provided by ancestral prokaryotic ion channels" Katsumasa Irie Biophysics and Physicobiology, Vol. 18, pp. 274-283 (2021)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第5号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	・第23回定例会議(2022年11月28日)、第24回定例会議(2023年3月28日)に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	<p>・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。</p> <p>・第45回日本分子生物学会(2022年11月30日~12月2日)に共催として参画した。</p>
2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第6号関連)	
2-6-1. IUPAB (国際純粋および応用生物物理学連合) 関連	・21st IBC (2024年)の開催準備を行った。
2-6-2. ABA (アジア生物物理学連合) 関連	・第60回日本生物物理学学会年会(2022)において、海外とのジョイント・シンポジウムを1件(米国)開催した。
2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physico-biology の国際情報発信力強化	<p>・海外 Editorial Board (4名)の指名を行った。</p> <p>・Special Issue (大沢流手づくり統計力学と Recent advances in retinal protein research)の刊行を行った。</p> <p>・サイトの更新</p>
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	2023年4月30日現在の講師登録者数は42名。2件の派遣授業を行った。
2-7-4. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。
2-7-5. その他国内・国外の啓発イベントへの参加	女子中高生夏の学校(2022年8月)にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事1名含む2名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。

3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2022年6月18日（定時社員総会）、2022年9月27日（臨時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2022年5月18日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2022年6月18日、2022年9月28日、2022年12月10日、2023年2月11日、2023年4月8日</p> <p>・上記のうち2022年6月18日、2022年12月10日、2023年2月11日、2023年4月8日に開催された理事会についてはTV会議システムを活用した。</p> <p>メール審議</p> <p>2022年5月30日 事業報告書・決算報告書ご確認のお願い</p> <p>2022年9月8日 学術会議公開シンポにおける共催について</p> <p>2022年11月8日 「生命科学クロスオーバー研究所」設置の提案書推薦について</p> <p>2022年11月11日 生科連の提言書に対するアンケートについて</p> <p>2022年11月22日 生科連 次期代表選挙 投票について</p> <p>2023年3月14日 男女共同参画学協会連絡会 若手雇用問題要望書（案）の事前投票について</p> <p>2023年3月27日 2025年年会について</p> <p>2023年3月28日 日本生理学会第101回記念大会 連携シンポジウム共催について</p> <p>2023年4月10日 2023年度予算について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<p>・出版委員会 2022年6月18日、2022年9月28日、2022年12月10日、2023年2月11日、2023年4月8日</p> <p>・男女共同参画若手支援委員会 2022年6月18日、2022年12月10日、2023年2月11日、2023年4月8日</p> <p>（出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2022年12月10日、2023年2月11日、2023年4月8日開催の委員会はTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。）</p> <p>・会誌編集委員会 2022年6月16日、2022年9月13日、2022年12月23日</p> <p>・Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2022年9月28日、2022年12月17日</p> <p>・ウェブサイト編集委員会 2022年6月1日、2022年9月27日、2022年11月7日、2023年1月11日、2023年3月20日</p> <p>・賞選考委員会（メール審議含む）</p> <p>2022年6月28日 文部科学大臣表彰</p> <p>2022年7月11日 島津奨励賞</p> <p>2022年7月13日 島津賞</p> <p>2022年7月27日 上原賞</p> <p>2022年7月29日 内藤記念講演助成金</p> <p>2022年8月26日 中谷賞</p>

	2022年8月26日 小林賞 2022年9月6日 井上學術賞 2022年9月6日 内藤記念科学振興賞 2022年9月6日 木原記念財団學術賞 2022年9月6日 高分子学会賞 2022年9月15日 東レ科学技術研究助成 2022年9月22日 東レ科学技術賞 2023年2月3日 山田科学研究援助 2023年2月13日 江崎玲於奈賞 2023年3月27日 日本學術振興會賞 上記の各賞に候補者を推薦した。
--	---

契約・入札・他に関する事項

- ・主な新規契約に関する事項（なし）
- ・入札に関する事項（なし）
- ・その他の事項（なし）

（付属明細2）会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2022年4月30日現在	2023年4月30日現在	
正 会 員	一般会員	1,849	1,833	▲ 16
	学生会員	811	1,029	218
	シニア会員	69	67	▲ 2
名誉会員		19	19	0
終身会員		-	3	3
機関会員		35	32	▲ 3
賛助会員		5	5	0
総計		2,788	2,988	200

準会員 73名

今期の新規入会者数

- 一般会員 106名（うち、入会キャンペーン利用者 1名）
- 学生会員 415名

（付属明細3）事務局の現況（2023年4月30日現在）

雇用者なし